

各地区業況アンケート結果（28年8月調査分）

（28年8月25日）

全国鉄鋼販売業連合会

8月24日締切で、当会役員151名に対しこのアンケートを行ったところ64名の回答があり（回答率42.4%）その結果が下記のとおりまとまりましたのでご報告致します。なお、本結果は鉄流懇など重要会議に資料として提出しています。

※ $DI = (A \times 2 + B \times 1 - D \times 1 - E \times 2) \div \text{総回答数} \times 100$ 、（数は回答実数）

1. 売上前年割れ企業増加

問1】貴社の7月（先月）総売上数量・総売上金額は、前年同月と比し如何でしたか？（答）

	A. 10%以上増	B. 5%以上増	C. ほぼ横這い	D. 5%以上減	E. 10%以上減	計	前回
売上数量/前年同月比	4	7	21	10	22	64	71
比率	6%	11%	33%	16%	34%	DI-61	DI-10
売上金額/前年同月比	4	4	20	11	25	64	71
比率	6%	6%	32%	17%	39%	DI-77	DI-32

2. 赤字2割

問2】貴社の7月（先月）の鉄鋼部門における企業収益状況は、如何ですか

	A. 黒字	B. 若干黒字	C. 収支トントン	D. 若干赤字	E. 赤字	計	前回
企業収益状況	10	23	18	9	4	64	71
比率	16%	36%	28%	14%	6%	DI+41	DI+66

3. 夏休みもあり減少傾向

問3】貴社の営業窓口から見て8月（今月）の販売量は、前月に比し如何ですか？（答）

	A. かなり増加	B. やや増加	C. ほぼ横這い	D. やや減少	E. かなり減少	計	DI	前回
公共建設向		6	22	16	3	47	-34	-30
民間建設向	1	5	30	16	4	56	-30	-9
自動車向		2	18	10	2	32	-38	-6
その他需要家向		5	30	18	5	58	-40	-6
仲間取引		3	22	23	2	50	-48	-24
計	1	21	122	83	16	243	-38	-15
比率	1%	9%	50%	34%	6%			

4. 秋需に期待

問4】貴社における向う9月から11月までの需要動向について貴殿の予測は如何ですか？（答）

	A. 増加	B. 微増	C. ほぼ横ばい	D. 微減	E. 減少	計	前回
短期需要動向予測	6	36	18	3	1	64	70
比率	9%	56%	28%	5%	2%	DI +67	DI +47

5. H形鋼、極厚板以外は過剰感残る

問5】下記主要品種の貴地区市場の需給状況は如何ですか？貴社の取扱品種のみについてご記入ください。(答)

8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	品種別	A	B	C	D	E		8月
D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	需給状況	非常に不足	不足気味	需給均衡	過剰気味	非常に過剰	計	D I
-42	-42	-38	-48	-46	-36	-39	-48	-32	-13	-28	-32	鉄筋用丸鋼	2		17	10	1	30	-27
-27	-20	-23	-23	-28	-21	-30	-21	-30	-21	-23	-15	構造用丸鋼			28	5		33	-15
-13	-22	-10	-14	-30	-12	-15	-22	-23	-11	-21	-11	平角鋼		1	28	5		34	-12
-27	-23	-27	-25	-17	-10	-22	-10	-34	-7	-16	-9	H形鋼		6	26	3		35	9
-27	-32	-23	-24	-33	-26	-47	-50	-57	-26	-38	-19	コラム		2	21	4	1	28	-14
-23	-19	-16	-30	-28	-13	-17	-19	-28	-12	-19	-10	小形山形鋼		3	30	6		39	-8
-26	-23	-19	-24	-28	-19	-17	-21	-30	-15	-22	-17	中形山形鋼		2	28	9		39	-18
-29	-30	-23	-24	-25	-27	-21	-18	-30	-21	-29	-18	溝形鋼		2	27	7	2	38	-24
-23	-34	-28	-28	-27	-25	-25	-37	-46	-64	-36	-22	軽量形鋼C形			26	4	1	31	-19
-18	-25	-40	-32	-57	-29	-44	-44	-32	-32	-33	-17	軽量形鋼広巾			19	5	1	25	-28
-56	-45	-57	-62	-40	-52	-58	-52	-62	-41	-55	-43	冷延薄板			16	10	1	27	-44
-62	-42	-55	-61	-33	-33	-59	-41	-36	-35	-40	-35	熱延薄板		1	23	9	1	34	-29
-67	-52	-48	-59	-32	-44	-62	-53	-62	-46	-50	-53	表面処理鋼板			22	9	1	32	-34
-67	-56	-62	-56	-42	-57	-69	-61	-63	-45	-48	-48	酸洗鋼板		1	19	7	1	28	-29
-45	-49	-49	-58	-44	-38	-63	-54	-47	-32	-30	-23	中板		1	31	8	1	41	-22
-39	-46	-44	-38	-30	-29	-57	-44	-44	-27	-16	-21	厚板		2	29	10		41	-20
-10	-17	-17	-14	-22	-18	-25	-31	-15	-11	-11	-4	極厚板		2	19	2		23	0
-23	-23	-25	-23	-35	-30	-22	-29	-25	-30	-11	-21	縞板			31	4	1	36	-17
-37	-29	-34	-36	-34	-33	-32	-38	-41	-32	-28	-26	中径角			28	9		37	-24
-19	-25	-25	-21	-32	-14	-19	-29	-33	-25	-33	-26	ガス管黒		2	25	8		35	-17
-25	-20	-19	-20	-31	-20	-24	-26	-31	-27	-23	-31	構造用鋼管		1	22	9		32	-25
-34	-33	-33	-35	-33	-27	-38	-35	-38	-28	-28	-24	計	2	26	515	143	12	698	-20

6. 需要回復感じられず秋需期待も不安漂う

問6】貴社の地域の景況、主力取扱品種の需要動向は如何ですか？地域の特殊事情・需要動向・信用問題などを織り交ぜて、概況をお知らせください。(答え)

北海道	A	予定案件の図面遅れなどで、計画の見通しが難しい状況である。市況面ではメーカーの値上げ玉が入荷している。唱えアップのPRはしているが、メーカー販価の据置き、スクラップの下落など不安定要素が強い。倉出し出荷も期待通りに伸びない。競争も激しいため、様子見状態の見通しである。
	B	異形棒鋼は非常にタイトである。デリバリーは窮屈。環境的には下降市況であつてもおかしくないが、ここまでタイトだと均衡状態である。8月、9月も同様な状況が続くと思われる。
東北	A	夏休み時期でもあり、何も変化なし。秋需に期待する。
	B	4月以降、業績は悪化の傾向を辿ってきたが、契約残の消化によって何とか月次黒字を維持することができた。7月は販売数量、売上金額、粗利益ともに大きく下落して久々に月次で赤字となった。予定物件納入時期の後ずれと公共工事の発注遅れ、ゼネコンの買い控えがその理由である。8月も7月同様良くない。
	C	一次加工は忙しくなってきた。忙しいファブと暇なファブの差が拡大している。
	D	コラムの引合いは順調だが、その他は鈍い。価格も厳しく非常に不安である。
新潟	A	建築金物、季節商品は秋需に向け増加傾向だが、他業種は斑模様で全体的に盛り上りに欠ける。Hグレードファブは関東物件中心に1年先までの契約残を持っている。Mグレードファブの足元の稼動は悪くないが、山積みで2～3ヶ月程度である。秋需に期待している。一般製造業者は業種によって濃淡はあるが、全体的に仕事量が少ない中、先行き不透明感を抱いている。価格は足元の需要状況や県外流通の流入で価格の反転ムードはない。
	B	値上げの入荷が迫っているが、ユーザーへの価格転嫁がいつからできるか心配になる。
	C	数量は昨年より僅かに多かったが、売上金額は若干マイナス。加工賃の減少も目立った。
	D	8月は実働日数も少なく、秋需に期待するしかない。単価もケースバイケースで終始している。
	E	春先の動きは停滞している。盛り上りは7月もなかった。8月は実働日も少なく、秋需に期待するしかない。単価もケースバイケースで拾っていく。
	F	第1四半期(4～6月)が過ぎ、例年だと引合いが増加する頃だが、今年は引合いが少なく遅れている。8月に入り見積り件数は増えているが、明細は細かい物ばかりで当用買いに徹している。先行き長期的な見積りが入り件数も増えているが、どれ位、成立するのか疑問である。メーカーでは大幅な値上げを目論んでいるようだ。先を見通してのことだが疑問である。メーカー各社は強気で価格も突っ張っているため、相場自体は安定している。我々エンドユーザーに直結している商売は非常に助かっている。
	G	建築、土木ともに少し仕事が出てきた感じである。
	H	例年8月の傾向だが、荷動きは良くない。秋需に期待しているが不安である。
神奈川		期初と比較し、若干の動きは見られるが安定的なものではない。また、下期に向け、建設関連では厳しい話も聞こえている。

東京	A	第2四半期は停滞感が継続するも、第3四半期は2020年東京オリンピックに向けインフラ整備等の需要に期待している。
	B	需要は低位安定であり、増えている感じはない。市況も下げ基調だが、下げ余地がないこともあり緩やかになっている。
	C	製造業の大半が低調な操業を続けており、価格交渉のテーブルにもつけていない。
	D	価格転嫁は難しく、業種問わず需要の回復は感じられない。厳しい状況が続いている。
	E	足元の需要動向は低調なままである。好転の兆しは感じられない。8月以降に期待したい。
	F	盆工事関連の駆け込み需要は期待はずれ。盆明けも変わらず低速走行。大型プロジェクトがいつ動き始めても対応できるようにスタンバイしている。
	G	7月後半から徐々に日当り出荷量は増加しているが、依然として市況は弱い。
	H	メーカーの値上転嫁ができない。需要の低迷と紐付き材の値下げで厳しい状況である。このままだと粗利の圧迫となる。
静岡	A	統計では緩やかに回復しつつあるとのことだが、実感は全くない。輸出の減速が見られ、景況感は冴えない。値上り玉が入荷してきているが、転嫁できない。
	B	久しぶりに大型軽構造パイプフレーム物件の受注が決まり、特別価格で頼むといわれた。きっと厳しい競合があったのではないかと。東西流通業者の傾向として各々「4～6月が酷かったから、7月に入って少し動いてないですか」と異口同音であった。地元、地方において老舗と言われていたところの破綻記事が増えている。当社は損益分岐点を往ったり来たりしている。首都圏中心の需要はニュースや記事だと下期からという流れである。地方にはあれがある、これがあるとニュースが乏しい。
	C	6月、7月と低調なまま過ぎたが、8月に入って先々の案件の話が少し出るようになった。メーカーの値上げはエンドユーザーには全く転嫁できない。
石川		鉄骨価格が少し下り気味であるが、想定範囲内で心配するほどではない。重機費、鳶費、運送費が下らず、良い傾向になっている。溶接工不足で工程が予定通り進まず、三直交替にせざるを得ない工場が増えている。外国人採用内容の改善方法を進めてほしい要望が増えている。
富山		当地区では物が動けず売上が伸びない中、売上確保に狂う特約店も出ている。同じ鋼材でも在庫、出荷、配送に手間がかかる品種には相応の口銭を頂くのが商いだと思う。何から何まで同じ掛け率で販売する営業マンを教育、管理できない店は、鉄を商う誇りを思い出してほしいものだ。
福井		建築は公共工事、民間工事ともに少ない。土木は新幹線がいよいよ始まった。各工区1万5千トン位あり、地元の下請けではまかないきれない。この状態が5～6年続くので、この地区としては忙しくなる。ファブは県外の大型案件をシェアして山を埋めている。当社も今月、来月と県外の大型物件で形鋼の売上は増となる見込み。東京オリンピック関連で東京方面からの仕事も秋から出てくると思われ、鋼材市況もそれに向けての仕込みがあるだろう。
愛知	A	需要動向は非常に悪い状況が続いている。回復に向かう要因が全くない。
	B	鉄鋼メーカーの値上げ表明と大手ユーザーの円高に対しての協力要請の間で流通は厳しい局面に置かれている。秋口からの荷動きに期待したい。

愛知	C	(鋼管) 集購分の落込みが大きく、なかなか回復しない。車種によりバラツキがかなりある。メーカーの値上げもずれ込んだ。(市況品種) 家具はオフシーズンで例年通り荷動きは悪い。設備関連に期待していたが、空振りに終わった。秋口は報道によると少し期待できるとのことだが分からない。メーカーの値上げとユーザーの圧力で特約店の利益確保が難しくなる。市場を大切にしてほしい。
	D	盆休み明けがどうなるか、それ次第。ここのところ低調が続いている。
大阪		相変わらず中小物件中心の動きで全般に動きが悪い。倉庫、工場、事務所、店舗等の中小鉄骨物件も一巡してきたためか、新規見積り、引合いが減ってきた。戸建て住宅は力強さには欠けるものの順調な動きが継続している。宅地造成も堅調な動きを続けている。
岐阜		今年度に入ってから業種を問わず減少傾向。良くて横ばいと言ったところ。少ない需要と安価競争に拍車がかかっている。秋口の需要も疑問が多く、悪い流れが止まらない。
広島		春頃の予想通り、暑さが厳しい夏だが、需要環境も予想通り厳しい。秋から冬にかけて盛り上ってくるという予想が当たってほしい。当面、目立った良い話は聞えてこない。
岡山		大きな仕事はないが、中小案件の話は少しずつ出てきたように感じる。一方、高い仕入玉が入っている中、重量確保だけの安値販売も散見される。地方の需要回復はなかなか厳しいが、秋需はいくらか出るはずで、地道に商売していくしかない。
北九州		7月後半から中小ファブに短納期物件が入りだし、形鋼類の引合いは増加したが、価格は厳しく安値追随も止む無しの状態。平鋼、鋼板定尺の動きは低調。8月に入り、酷暑で引合いは止まっているが、スクラップの底打ちでメーカー値下げもなくなった。採算重視だと受注できず、全くもって悩ましい。盆休み明けの引合いは緩慢としているが、見積りは増加し、秋以降、多少持ち直すかもしれない。
福岡		7月度は結果として前年同月比10%以上増加。自社の得意先の特徴として二極化が更に拡大してきている。また、業種的には食品、特殊車両が元気である。受注に関しては短納期対応、8月は盆休みがあるので、更なる短納期対応が予想される。信用問題は今のところ大きな問題はないが、業界の中で連絡を取り合い注意したい。